



# 鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

連絡先

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

<http://www.synapse.ne.jp/~aunion/krijidouren-index.htm>



携帯サイトです。ブックマークに登録を！

## ニュース

No. 18

2010年4月25日

### 第4回県連絡会総会

### & 第2回かごしま学童保育シンポジウムの開催

- とき 2010年6月13日(日)・総会11:00～  
・シンポ13:00～
- ところ 始良市「加治木町福祉センター」  
(始良市加治木町本町393 TEL 0995-63-2080)
- 参加費 無料

鹿児島県内においては、2009年5月1日現在、38市町村で291の学童保育が運営されてきています。運営形態も保育園が設置者であったり、保護者が運営委員会を立ち上げて運営している児童クラブであったりと様々です。

4年目を迎える県連絡協議会では、「かごしまの学童保育」について、保護者、設置者、指導員、行政、関係者とともに考え合い、子どもたちのためによりよい学童保育をつくっていくため、第二回「かごしま学童保育シンポジウム」を開催いたします。保護者と指導員、行政担当者の方々と一緒に学童保育のいろんなことを学び合う場になればとの思いをもっています。

たくさんの保護者と指導員、学童関係者のみなさんの参加をお待ちしています。

□ 基調講演

○講師：真田 祐(さなだ・ゆたか)さん  
(全国学童保育連絡協議会)

○演題：「ますます期待される学童保育の課題と展望

～保護者・指導員・行政の協力で、安全・安心な学童保育を～

### 鹿児島県白書づくり(実施状況調査)のお願い

対象年齢は異なりますが保育園と同じような役割・目的を持つ学童保育は、1997年に児童福祉法に位置づけられて10年が経ったものの、未だに公的責任があいまいであり、最低基準もなく、財政措置も不十分などのことがあり、十分に整備されていない現状があります。

国や自治体の公的な責任で条件整備を図り「働く親を持つ子どもたちに安全で安心な毎日の生活を保障する」学童保育が、必要とする子どもたちすべてに保障されることが必要です。特に、「生活の場」としての専用施設(室)の確保と、学童保育指導員が責任を持って子どもたちに安全で安心できる生活を保障できるようにするための労働条件や勤務体制の改善などは、条件整備の根幹として抜本的な改善が必要です。

そこで、鹿児島での学童保育の成り立ちと現状がどうなっているか、また市町村における子育て支援施策内容等の実情を把握し、すべての子どもが安心して安全な社会で健やかに育つ権利を保障するための環境整備の一助とするための「かごしま『学童白書』づくり」アンケートです。

各学童での取り組みをよろしくお願ひします。

### 第3回新年度を控えての指導員研修会(2010年3月14日)

### 幼い子どもの保育・子育てから見える 子どもたちと親たちの今を考える

児童クラブ(学童保育)指導員を志望する方や現在携わっている方(概ね2年)を対象に、指導員の仕事に携わる上で理解しておいてほしい基本的・基礎的事項について学習する、第3回新年度を控えての指導員研修会には、県内から30クラブ約70名の指導員の参加がありました。遠くは、奄美大島からの参加がありました。

基調講演では、鹿児島子どもセンターの黒川久美さんから、『かごしま子ども白書』から子育てに関わる中で、子どもたちの育ちの背景から見えてくる親たちのことについて問題提起をいただきました。気にかかる子ども、親へ寄り添いながら一緒に思いを共有することの大切さを改めて考えさせられました。

子どもたちの「居場所」としての学童保育、そして子育てに悩む親への思いを共感を持って寄り添うことができる学童でありたいし、指導員として関わる必要があるのではないのでしょうか。

講座を踏まえての小グループに分かれての交流では、日頃抱えている課題や問題を出し合い悩み等を共有することでできたのではないのでしょうか。4時間という研修時間が足りないほどでした。

2-①

今、問われている子ども理解

「気になる子ども」が増えている?

▼1990年代後半頃から?

落ち着きのない子、会話が成立せず一方通行、「死ね」など乱暴な言葉、友だちとの関係がうまくつけれない子、気に入らないことがあると些細なことでパニック、攻撃的、大人のものぞむ「よい子」を演じる、自分の非を認めたくない、甘え下手、保育者にベタベタ甘える・・・



2-②

今 問われている 子ども理解 子どもをどう理解し、どう向き合うか?

○「気になる」姿・行動を通して、子どもは何を訴えているのか。

行動の背後にある、そうせざるを得ない子どもの思いや葛藤、理由を探り、本当の願いをとらえようとする。=子どもの内面に目を向けること。

◎認めてほしい、無条件に愛してほしい、ありのままの自分を受け止めてほしいという切実な願い

# 拓人 拠点数10倍に 東急系 土曜も預かり

個別指導塾「スクールIE」を全国で運営する拓人は、小学4年生までの子どもを英語で指導する学童保育所「キッズデュオ」を3年かけ大幅に増やす。2011年度に小学校で英語の授業が必修化されるのに対応。英語を母国語とする外国人や帰国子女が指導員となり、子どもと接する際に英語のみを使い、語学力を高められるのを売り物にする。利用料は週3回で月

## 子ども手当にらむ

額4万4100円。  
東急グループで学童保育を手掛けるキッズベイクャンプ(東京・世田谷)は4月から受け入れ



外国人講師が面倒をみることで、語学力を高められる(キッズデュオの教室風景)

# 塾・保育所各社が 学童保育を強化

学習塾や保育所の運営企業が相次いで、放課後に小学生を預かる学童保育事業を拡大する。個別指導塾大手の拓人(東京・中央)は学童保育所を3年で10倍の50カ所に拡大、東京急行電鉄の子会社は4月から土曜にも預かるサービス始める。6月に子ども手当の支給開始を控え、英会話や食事について学ぶ機会を提供など特色を打ち出し、利用を訴える。

日に土曜日も加える。菓子作りや工作など体験型のメニューを用意。サービス業や小売業など週末にも勤務する保護者の利用を見込む。  
保育サービス大手のJ Pホールディングスも4月に学童保育所を14カ所新設し、全46カ所に拡大する計画だ。施設内で野菜を育て、調理する食育を重視したプログラムなどを提供する。

全国学童保育連絡協議会(東京・文京)によると、2009年5月時点の学童保育の利用者数は前年比2%増の約80万人で、1万人以上の待機児童がいるという。景気悪化もあって増えている共働き世帯などの需要を取り込む考えだ。

新聞報道記事から  
■2010年3月19日「日経新聞」

大手の塾が「学童保育所」と銘打ったサービスを展開しようとしているというものです。その他にも、民間企業が学童保育を増やしている様子が載っています。

塾が始めるものは「学童保育所」と名乗っていても、以下の通り、児童福祉法に位置づく学童保育ではないことを説明しました。

今後、各地で「学童保育所」と名乗る民間育児産業が増えてくるのが予想されますが、はたして学童保育なのかどうかを確かめる必要があります。

皆さんの地域でも、そうした動きがあれば問い合わせるなどして確かめてみてください。(県連絡会、全国連協にも情報をお寄せください)

『学童保育ハンドブック』(123ページ)から次の事業は、法の趣旨からいって対象にはなりません。  
①目的を異にするもの(スポーツクラブ、塾等の特定の学習を対象としたもの)  
②対象児童が限定されていないもの(すべての児童が対象の児童館事業など)  
③公共性に欠けるもの(特定の団体に所属する児童のみを対象とするなど)  
(1997年、厚生労働省作成「改正内容に関する主要問答」より)